

## 一般社団法人サードパス

### 2021年度事業報告書

(2021年10月1日～2022年9月30日)

#### 1. 勉強会事業

i. 月1回、医療関係者を対象としたオンライン勉強会「yururi (ゆるり)」を開催した。

●第13回 2021/10/22 (金)

「コロナ禍でも繋がりをーオンラインならではの対話のポイントとは？」

～今さら聞けないリモートコミュニケーションのコツを学ぼう！～

山本 伸 さん (一般社団法人ビジネスモデルイノベーション協会 (BMIA) 代表理事)

●第14回 2021/11/18 (木)

「命と健康を守るための情報提供・対応戦略」

～行動変容につながるヘルスコミュニケーション、

効果的なリスクコミュニケーションとは？～

蝦名 玲子 さん (保健学博士/ヘルスコミュニケーションスペシャリスト)

●第15回 2021/12/15 (水)

「社会的処方制度化に潜む危険性」

～地域と関わり続けてきた医師の視点から～

中野 智紀 さん

(社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 東埼玉総合病院 地域糖尿病センター長)

●第16回 2022/01/24 (月)

「DXで介護課題は解決できるか」

～ケアの現場はテクノロジーの活用でどう変わる？～

鹿野 佑介 さん

(一般社団法人日本ケアテック協会 代表理事/株式会社ウェルモ 代表取締役 CEO)

●第17回 2022/02/15 (火)

「病いを生きる患者の語りを持つ力」

～健康と病いの語り DIPEX-Japan (ディペックス・ジャパン) の活動から～

佐藤 (佐久間) りか さん

(認定NPO 法人健康と病いの語りディペックス・ジャパン事務局長)

●第18回 2022/03/22 (火)

「地域主体の健康のまちづくりを目指して」

～赤ふん坊やと共に歩む、福井県高浜町での実践から～

井階 友貴 さん

(福井大学医学部地域プライマリケア講座 (JCHO 若狭高浜病院/国保和田診療所) 教授)

●第 19 回 2022/04/14 (木)

「診療報酬改定から考える、これからの地域医療」

～人口減少・超高齢社会における持続可能な医療とは～

神野 正博 さん (社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長)

●第 20 回 2022/05/10 (火)

「コミュニケーションで健康をデザインする」

～領域を超えた“健康実務家”の協働で目指す未来～

戒田 信賢 さん (京都大学大学院医学研究科 研究員 (健康情報学))

●第 21 回 2022/06/09 (木)

「医学研究・臨床試験に患者の声を活かすには？」

～医薬品開発における患者市民参画 (PPI) の取り組みと研究倫理～

松山 琴音 さん (日本医科大学研究統括センター副センター長 / 医療管理学特任教授)

●第 22 回 2022/07/06 (水)

「日本復興計画 これからの社会と医療介護」

～アフターコロナ、アフターウクライナの向かう先とは？～

長谷川 敏彦 さん (一般社団法人 未来医療研究機構 代表理事)

●第 23 回 2022/08/08 (月)

「難病者と考える、これからの多様な働き方」

～難病者の社会参加白書・就労調査の結果から～

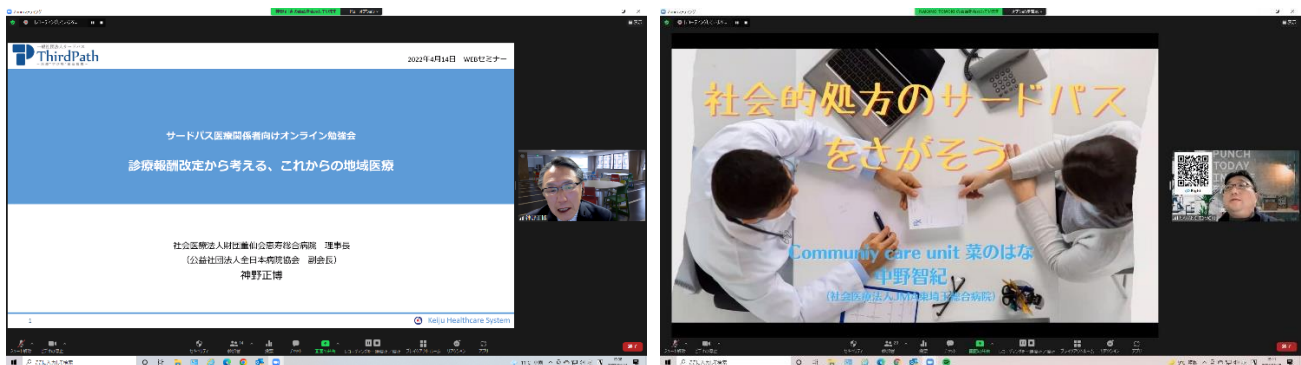
重光 喬之 さん

(NPO 法人両育わーど 理事長 / 難病者の社会参加を考える研究会 発起人)

●第 24 回 2022/09/26 (月)

「未来の医療 変わることに変わらぬこと」

～サードパス活動報告会&参加者交流会～



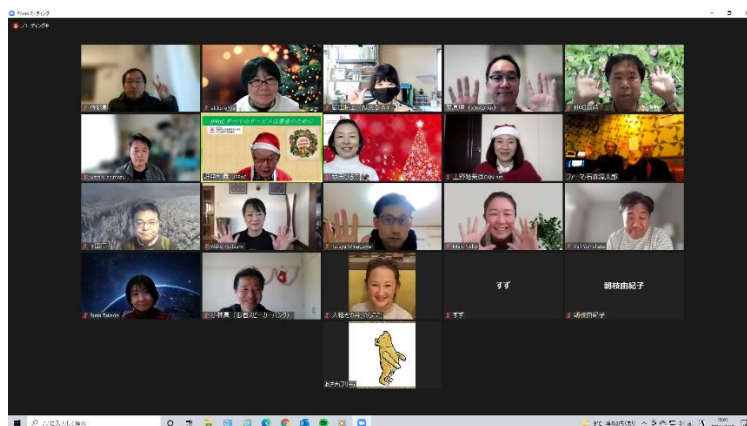
【写真】 yururi オンライン開催の様子

- ii. 2 ヶ月に 1 回、オンライン読書会「perari (ぺらり)」を開催した。
- トライアル 2022/06/16 (木)  
『コーダの世界—手話の文化と声の文化 (シリーズ ケアをひらく)』を読む  
～オンライン読書会 perari (ぺらり) トライアル開催～

- 第 1 回 2022/08/18 (木)  
『食べることと出すこと』を読む  
～「シリーズ ケアをひらく」オンライン読書会 perari 第 1 回～

- iii. NPO 法人 患者中心の医療を共に考え共に実践する協議会 (JPPaC) や患者会との共催により、オンラインでクリスマスの集い「生きる喜び歌う喜び」を開催した。

- 2021/12/19 (土) クリスマスの集い@Zoom



【写真】クリスマスの集いオンライン開催の様子

- iv. NPO 法人オレンジアクトと協働で、大田区における認知症啓発活動を行った。

<主な活動>

- ・ 大田区高齢福祉課より、認知症サポーター養成講座受付業務を受託

2. その他の事業

- i. 「患者目線で革新的医療政策実現を目指すパートナーシップ (PPCIP: Partnership for Patient-Centered Innovative Policy)」 諮問委員会メンバーとして代表理事大屋が参画した。
- ii. 雑誌『最新医療経営 PHASE3』6月号の記事『ワークショップ: 対話できる「学び場」を提供お互いを認め合い成長促す』に代表理事大屋と理事秋元のインタビューが掲載された。
- iii. 雑誌『サンデー毎日』2022年7月3日号の記事『読んでトクする社会保障』内で「医療従事者との交流の場」としてサードパスの活動が紹介された。

以上

一般社団法人サードパス

貸借対照表

(2022年9月30日現在)

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産		流動負債	
現金預金	2,960,300	預り金	12,572
売掛金	11,000	流動負債合計	12,572
流動資産合計	2,971,300	固定負債	
固定資産		長期借入金	1,750,000
工具器具備品	1	固定負債合計	1,750,000
固定資産合計	1	負債の部合計	1,762,572
		<b>純資産の部</b>	
		繰越利益剰余金	1,208,729
		利益剰余金合計	1,208,729
		純資産の部合計	1,208,729
資産合計	2,971,301	負債・純資産合計	2,971,301

一般社団法人サードパス

損益計算書

(2021年10月1日～2022年9月30日)

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 事業収益		
ワークショップ収益	294,000	
書籍販売益	2,000	
オレンジアクト業務委託	1,119,914	
その他	165,000	
2. 受取寄付金	0	
3. 受取助成金	0	
4. その他収益		
受取利息	22	
経常収益計		1,580,936
II 経常費用		
1. 事業費		
役員報酬	360,000	
事業所賃貸料	101,063	
接待交際費	11,843	
会議費	3,600	
通信費	23,470	
支払手数料	36,459	
貸借料	0	
支払報酬料	146,822	
事業費計	683,257	
2. 管理費		
給料手当	120,000	
法定福利費	140,586	
福利厚生費	17,924	
事業所賃貸料	101,062	
消耗品費	0	
租税公課	10,000	
管理費計	389,572	
経常費用計		1,072,829
税引前当期純利益		508,107
法人税、住民税及び事業税		110,100
当期純利益		398,007